

JR東海労ニュース

No.1075

2008年7月25日

JR東海労働組合

職場問題を解決しよう！ シリーズ ②

またしても！

ディスクボルトに亀裂発生！
今までの対策は何だったのか！

本日未明、東京第一車両所で700系電車のブレーキディスクボルトを探傷作業中、またしてもボルトの亀裂が発見されました。

完全に折れる前に発見されたのは不幸中の幸いでしたが、もし走行中にボルトが折れていたら、大きな被害が発生しても不思議ではありません。

この間、JR東海はボルトの形状や材質を何度となく変更しましたが、ボルト折損はとまりません。それどころか、今までもボルト折損が発生すると、車両の検修に携わる社員には詳細を伝えず、隠すように台車を交換し、後でこっそりと対策品を取り付けるなど、私たちに気づかせまいと必死になって隠蔽工作をしています。また、私たちとの交渉においても、抜本的な対策を示すことすらしないのです。このようなことで安全が守れるのでしょうか？

夏の多客期を迎え、社員も車両もフル回転で業務をこなすことが強いられています。社員に「規律と忠誠心」を強要し、休日出勤も当たり前前の状況でモノいわず働かせているのです。このような会社が本気で安全を考えているとは到底思えません。

私たちはこのようなJR東海の姿勢を糾し、安全を守るため闘っていきます。職場では労組を問わず、あらゆる問題に対して社員の不満が噴出しています。

働きやすい職場をつくるため、私たちと共に闘おう！

**抜本的な対策を講じない
JR東海は安全を本気で
考えているとは思えない！**